

## ダイバシティチューナユニット WTU-1820

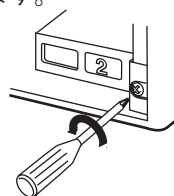
### 概要

本機は、800 MHz帯B型ワイヤレスシステム専用のダイバシティチューナユニットです。ワイヤレスアンプWA-1802、WA-1802C、屋外用PAアンプWA-120D、移動用PAアンプKZ-25などに組み込んでお使いください。PLLシンセサイザ方式を採用していますので、30波の周波数設定が可能です。

### チューナユニットの組み込みかた (ワイヤレスアンプWA-1802の場合)

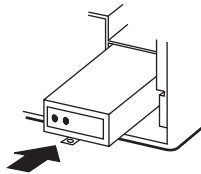
- ご注意**
- 静電気による破損を防ぐため、作業前に必ずラックなどの金属物に触れるなどして、人体や衣服に帯電した静電気を逃がしてください。
  - チューナユニットの金めっき端子部には手を触れないでください。

1. 本体の電源スイッチを「切」にします。
2. 収納ふたを外します。
3. 右下すみにある **2** 表示のチューナカバーを外します。
4. チューナユニットを下図のように挿入し、奥のコネクタに確実に差し込みます。
5. チューナユニット装着後はチューナカバーを元どおりに取り付けてください。



**ご注意**

チューナユニットの上下を間違えないように注意してください。

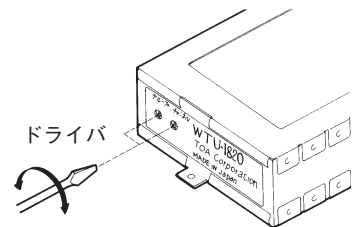


**ご注意**

チューナカバーを取り付けないとチューナユニットが外れることがあります。

### グループ・チャンネル番号の設定のしかた

1. チューナユニット正面のグループ番号設定スイッチの矢印を、設定したいグループ番号に付属のドライバで合わせます。
2. 次にチャンネル番号設定スイッチの矢印を、設定したいチャンネル番号に、付属のドライバで合わせます。



- ご注意**
- ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナは同じグループ・チャンネル番号に設定してください。
  - 同じ場所で2本以上のワイヤレスマイクを使うときは、グループはすべて同じ番号に、チャンネルはすべて異なる番号に設定してください。
  - グループ1～4は6波まで使えますが、グループ5は5波まで、グループ6は1波のみ使えます。
  - 受信周波数一覧表にないグループ・チャンネル番号に設定しても受信できません。受信周波数一覧表を見て設定し直してください。
  - お買い上げ時にはB11（グループ1、チャンネル1）に設定されています。

### 受信周波数一覧表 (下記以外の組み合わせでは使用できません。)

グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)	グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)	グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)
1	1	B11	806.125	3	1	B31	806.625	5	1	B51	807.625
	2	B12	806.375		2	B32	806.875		2	B52	808.125
	3	B13	807.125		3	B33	807.375		3	B53	808.375
	4	B14	807.750		4	B34	808.250		4	B54	808.750
	5	B15	809.000		5	B35	808.625		5	B55	809.625
	6	B16	809.500		6	B36	809.250		6	B61	807.250
2	1	B21	806.250	4	1	B41	806.750	<b>● 800MHz ワイヤレスマイクロホンのチャンネル呼称について</b> 例 <b>B 1 3</b> ①……800MHz帯を表す ②……グループ番号を表す ③……グループ内のチャンネル番号を表す			
	2	B22	806.500		2	B42	807.500				
	3	B23	807.000		3	B43	808.000				
	4	B24	807.875		4	B44	809.125				
	5	B25	808.500		5	B45	809.375				
	6	B26	808.875		6	B46	809.750				

# トーンスイッチについて

このスイッチ設定を変えるときは販売店にご相談ください。

## ●「トーン」のはたらき

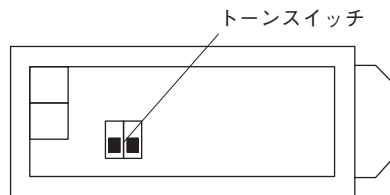
ワイヤレスマイクの電源が入っていないときや、ワイヤレスマイクの電源が入っていても妨害電波が強いとき、妨害電波の音声や雑音が聞こえることがあります。









この対策として、ワイヤレスマイクの電波にトーン信号をのせて送信し、ワイヤレスチューナではトーン信号の含まれていないワイヤレスマイクの電波は、音声を出力しないようにしています。本機はこのトーン信号を3種類搭載しており、状況により切り換えることができます。

**メモ** 混信が非常に強い場合はチューナの出力が混信妨害の影響を受け、トーン信号の周波数を変えても正常に使用できないことがあります。

## ● トーンスイッチの設定のしかた

1. チューナユニットを引き出し、上面のふたを外します。
2. 基板上的のトーンスイッチをボールペンの先などで設定します。  
トーン信号の周波数はスイッチ位置により下表のように変化します。
3. チューナユニットのふたを閉じ、チューナに挿入します。(チューナユニットの引き出し、挿入は表ページの「チューナユニットの組み込みかた」を参照してください。)



スイッチ位置	1  2  OFF	1  2  OFF	1  2  OFF	1  2  OFF
トーン信号周波数	B1、B3 グループ 32.768 kHz B2、B4 グループ 32.718 kHz B5、B6 グループ 32.818 kHz	すべてのグループ 32.718 kHz	すべてのグループ 32.768 kHz	すべてのグループ 32.818 kHz

## ご注意

- トーンスイッチを切り換える際、スイッチ以外の部品には触れないでください。故障や動作不良を起こすことがあります。
- ワイヤレスマイクとチューナユニットは、グループ・チャンネル番号およびトーン信号の周波数がそれぞれ一致しないと正しく受信できません。
- お買い上げ時はトーンスイッチの位置は1、2ともに「OFF」の位置に設定しています。
- この機能は、トーンスイッチのついているワイヤレスマイクとチューナユニットの組み合わせでのみ使用できます。トーンスイッチのついていない機器の組み合わせでは、スイッチ1、2ともに「OFF」の位置で使用してください。

# 仕様

電源電圧	DC10 V
消費電流	120 mA 以下
受信周波数	806.125 ~ 809.750 MHz (30 波のうち1 波)
受信方式	スーパーヘテロダイン方式
ダイバシティ方式	スペースダイバシティ方式
アンテナ入力インピーダンス	50 Ω
受信感度	S/N 比 25 dB 以上 (10 dB μV 入力、変調周波数 1 kHz、± 4.8 kHz 偏移)
スケルチ感度	16 dB μV
S / N 比	64 dB 以上 (JISA カーブ使用)

残留雑音	16 μV 以下 (JIS A カーブ使用)
出力	0 dBV ± 2 dB (38 kHz 偏移時、負荷 4.7 k Ω 以上)
歪率	3% 以下 (60 dB μV 入力)
使用温度範囲	-10 ~ +50℃
寸法	60 (幅) × 25 (高さ) × 139 (奥行) mm
質量	130 g

## ● 付属品

- 設定ドライバ ..... 1
- カラーマーク (6 色) ..... 1

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

<b>TOA お客様相談センター</b> 商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	フリーダイヤル <b>0120-108-117</b> ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。	当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。
--	--	--	---

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>